

弘前大学 教育学部 附属 教育実践総合センター

本センターは、教育内容、教育方法や教育実習などの実証的な研究を行う共同研究施設として、1988年に設置されました。2001年に教育実践研究部門と教育臨床研究部門からなる教育実践総合センターに改組され、今日、学校教育が抱えるさまざまな問題の解決に取り組んでいます。



当センターの特色

研究員制度

学内外の先生方を「センター研究員」として受け入れ、研究を委嘱しています。10年間に延べ130名余の研究員を受け入れました。定期的に行われる研究員会では、校種も教科も異なる研究員の間で活発な意見交換が行われています。センターでは、研究員の活動を、教育委員会とも連携して応援しています。研究成果は報告書として刊行し、概要はインターネットでも公開しています。

教育相談とスーパーバイズ

学校不適応、問題行動など、理解と対応が困難な事例が増加しています。センターでは、学校教育講座(教育心理学)との連携の下に心理臨床活動を行う教育臨床相談室を設け、このような事例についての相談活動を行いながら、スーパービジョンや背景の分析、対応方法について研究しています。

フレンドシップ事業の推進

センターでは、近隣の社会教育施設や学校の協力を得て、教員をめざす学生と子どもたちとのふれあい体験活動を展開しています。学生は、さまざまなふれあい活動に主体的に取り組むことにより、子どもとの接し方を学ぶとともに、教師をめざす意志をより確かなものにしていきます。

高速インターネット時代の教育支援

全ての学校がインターネットに接続され、校内LANも着々と整備されています。情報化時代の教材開発方法や指導方法について現職の先生方と共に研究しています。また、センターで開発した教材はすべて公開しています。

情報弱者を支援する基盤技術の開発研究

文部科学省では統合教育を促進する学校教育法施行令の改正を検討しています。当センターでは、近隣の盲聾養護学校や福祉施設の協力を得て、障害児などの情報弱者の学習を支援する基盤技術の開発研究を行っています。

機材・教材・資料の共同利用

全国の実践センターや附属学校の研究資料を収集し、共同利用を図っています。700点を超えるビデオライブラリも活用されています。また、最新のAV機器や情報機器を揃え、専門の職員が指導しています。

センターの活動

教育実践研究部門

□学校教育領域

教科教育における指導と評価の研究と指導
学級経営や特別活動など教科外教育の研究と指導
国際理解、福祉、地域理解など、新領域のカリキュラム開発
教育実習の内容や方法の研究



◆センター研究員による発表会

□教育情報システム領域

情報システムや遠隔教育システムの研究と開発
情報教育教材の開発方法の研究と指導
情報教育、遠隔教育など、新領域のカリキュラム開発
障害児などの情報弱者の学習を支援する基盤技術の開発



◆身体動作で学習するWeb教材

教育臨床研究部門

□発達臨床・教育相談領域

心理臨床・教育相談
地域の適応指導教室と連携した教育臨床の実践と研究
心理臨床・教育相談・教育臨床従事者の育成



◆構成的エンカウンターの指導風景

□教育社会環境領域

児童生徒をとりまく学校内外の教育環境および社会環境に関する研究と支援
学校教育と学校外教育の境界領域の研究と指導
教育をめぐる人間関係の研究と支援



◆フレンドシップ事業による「ふれあい体験活動」

施設・設備

自主学習室(1F)

総合情報処理センターのサテライト端末が10台利用できる他、ビデオの視聴もできます。また、グループ学習ができるよう、中央にテーブルが用意されています(最大15人程度)。常時開放し、学生も記名するだけでいつでも利用できます。



◆自主学習室でレポート作成

教材作成室(1F)

さまざまな教材を開発できるように、印刷機、カラーコピー機、丁合機、紙折機、裁断機、ビデオ編集機、ビデオダビング装置、パソコンなど、最新の機材がそろっています。学部・附属教官、センター研究員の他、学外の教育関係者にも利用の便を図っています。学生は担当教官の指導の下に利用できます。また、学部サーバは、教育学部の情報発信の拠点となっています。



◆教材作成室の印刷教材作成コーナー

資料室(2F)

全国の教員養成系大学・学部や附属学校から収集した教育実践資料、ビデオライブラリなど、さまざまな研究資料を整理しています。



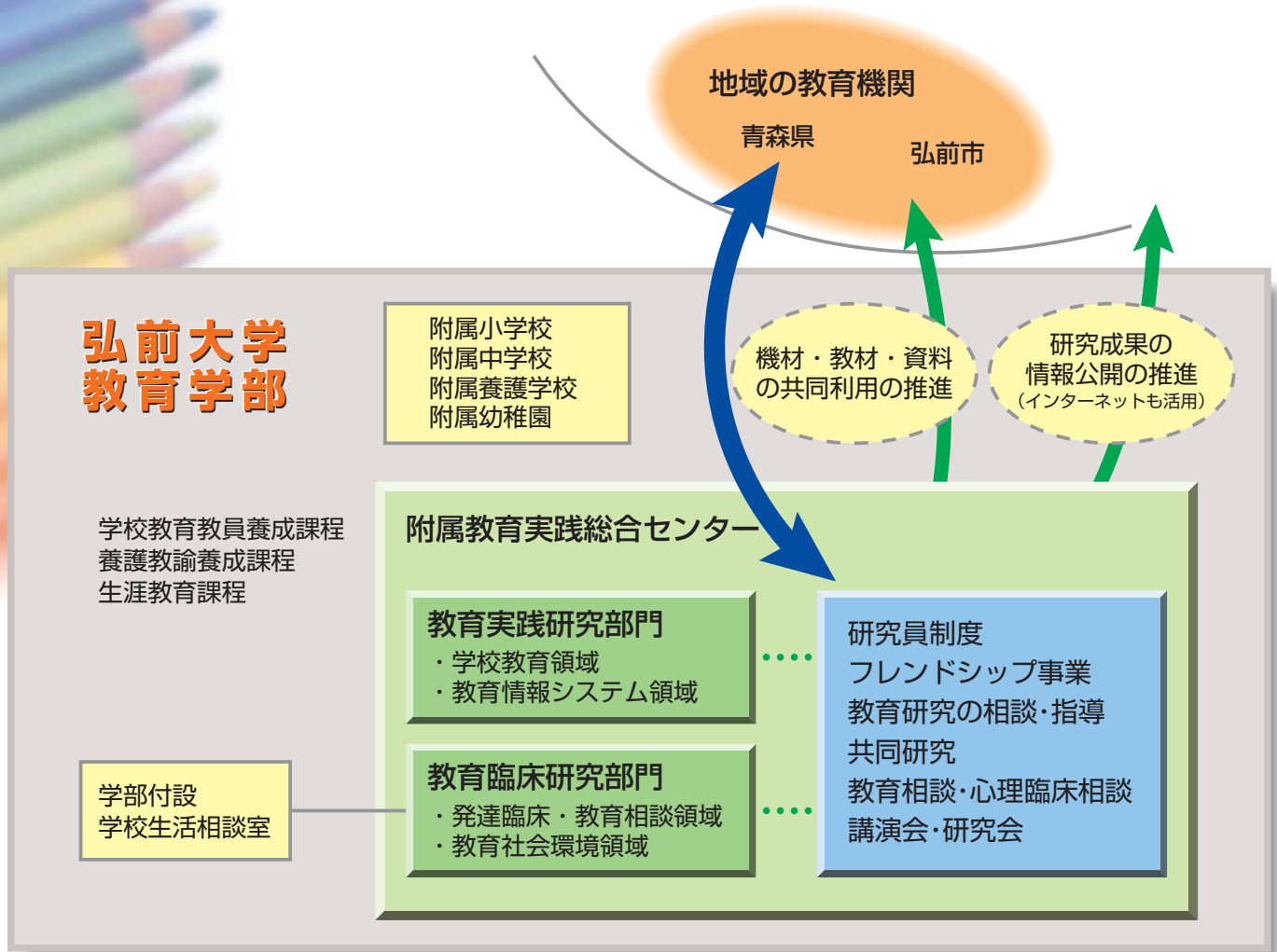
◆資料室の研究資料

マイクロティーチング室(3F)

模擬授業を収録し、それを再生しながら教授方法を指導するマイクロティーチングが展開できるように設計されています。その他、小規模の研究会や講演会、ミニスタジオなど、多目的に利用できます(定員60名)。



◆マイクロティーチング室での模擬授業



◆沿革

- 1982年1月 センター設置準備委員会の設置
- 1988年4月 教育実践研究指導センター発足
- 1989年3月 教育学部1階にセンター開設
- 1992年3月 センター建物完成
- 2001年4月 教育実践総合センターに改組

弘前大学教育学部 附属教育実践総合センター

〒036-8560 弘前市文京町1番地

(事務室)電話：0172-39-3487

FAX：0172-39-3488

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/center/>

- 学校教育領域 野呂研究室
TEL 0172-39-3485
- 教育情報システム領域 小山研究室
TEL 0172-39-3486
- 発達臨床・教育相談領域 豊嶋研究室
TEL 0172-39-3477
- 教育社会環境領域 田名場研究室
TEL 0172-39-3484